

平成9年 WHEEL HOUSE, CONTROL ROOM

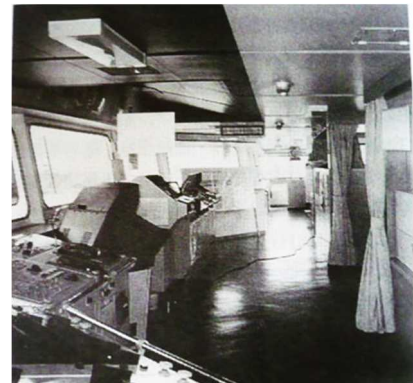
1. 「CLEMENTINE」 「船の科学」 1997-3 (Vol.50, No.3) より採取。

- ・10,000 DWT 型 RO/RO 運搬船「CLEMENTINE」、DWT 9,655 トン、総トン数 23,986 トン
2機2軸 CPP 付き、バウスラスト×2、マリナー舵×2を備え、優れた操船性能を有している。荷役効率を上げるための自動ヒール制御装置を装備している。また軸発 (1,700 kW) を装備、通常航海中の電力を賅っている。
- 航海速力 17.8 ノット、車輛積載台数 トレーラ 156 台、乗用車 654 台、乗組員 18 名、ドライバー 12 名。
- ・船主 : Ocean arrow Ltd. Inc. (Panama) ・建造 : 川崎重工業 (株) 坂出工場 平成9年2月28日 竣工
- ・1) は本船全景、2) は操舵室。

1) W72-01 CLEMENTINE 本船全景



2) W72-02 CLEMENTINE 操舵室



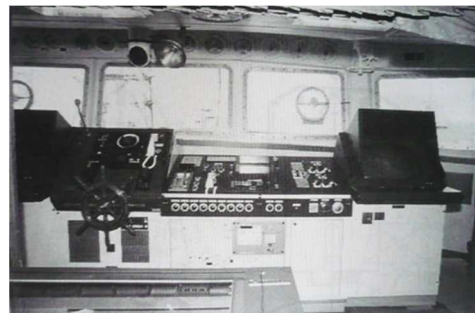
2. 「広島丸」 「船の科学」 1997-6 (Vol.50, No.6) より採取。

- ・広島商船高等専門学校練習船「広島丸」、総トン数 234 トン、航海速力 13.0 ノット、定員 (近海) 乗組員 9 名、教官 3 名、学生 44 名 計 56 名、 (沿海) 乗組員 9 名、その他 87 名 計 96 名、
超自動化船に対応できる最新の機器、研究設備を有す (主機燃焼解析装置、推進系総合監視装置、ディーゼルエンジン燃焼シミュレータ、機関部情報収集装置、データ収集システム、操船シミュレータ、船舶航行監視装置、各種海洋観測装置など)。
- ・船主 : 広島商船高等学校 ・建造 : 石川島播磨重工業 (株) 呉第一工場 平成9年1月20日 竣工

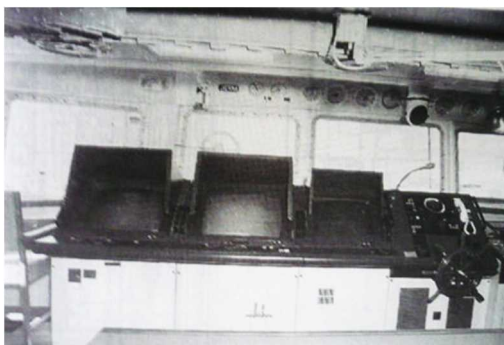
3) W72-03 広島丸 本船全景



4) W72-04 広島丸 操舵室 (右舷)



5) W72-05 広島丸 操舵室 (左舷)



6) W72-06 広島丸 機関制御コンソール



- ・ 3) は本船全景、4) は操舵室 (右舷)、5) は操舵室 (左舷)、6) は機関制御コンソール。

3. 「やまと丸」 「船の科学」 1997-6 (Vol.50, No.6) より採取。

- ・ 貨物フェリー RO/RO 方式「やまと丸」、総トン数 8,015 トン、DWT 5,737 トン、航海速力 20.8 ノット 追浜～御前崎～荇田間を航行。旅客 12 名、乗組員 19 名、 車輦搭載数 122 台 (12 m 型シャーシ)、 主機 低速2サイクル・ディーゼル機関、低質燃料油 使用可、発電機関も低質燃料油使用可。
- ・ 船主 : 九州急行フェリー (株)
- ・ 建造 : 内海造船 (株) 瀬戸田工場 平成9年3月20日 竣工
- ・ 7) は本船全景、8) は操舵室、9) は機関制御室。

7) W72-07 やまと丸 本船全景



8) W72-08 やまと丸 操舵室



9) W72-09 やまと丸 機関制御室



4. 「新日丸」 「船の科学」 1997-7 (Vol.50, No.7) より採取。

- ・ 4,000 PS オーシャン・タグボート「新日丸」、 総トン数 698 G/T DWT 1,177.2 トン 有人潜水艇「はくよう」、無人深海探査リグ「はくよう 2000」の母船、各種観測機器を搭載しての 海洋調査・ 海洋開発サルベージ作業などを行う。 定員 40 名 (乗組員 15 名を含む)、巡行速力 13.0 ノット 中速ディーゼル機関 2機2軸 CPP 付き、フラップ ラダー、バウスラスト装備、ジョイスティック制御に より特殊操船可能。

10) W72-10 新日丸 本船全景



11) W72-11 新日丸 操舵室



12) W72-12 新日丸 操舵室無線コンソール



- ・船主 : 新日本海事(株) ・建造 : (株)石井造船所 平成9年4月20日 竣工
- ・10) は本船全景、11) は操舵室、右舷側より左舷を見たところ、Console Stand 中央にあるのが Joystick Controller、12) は操舵室の無線 Console。

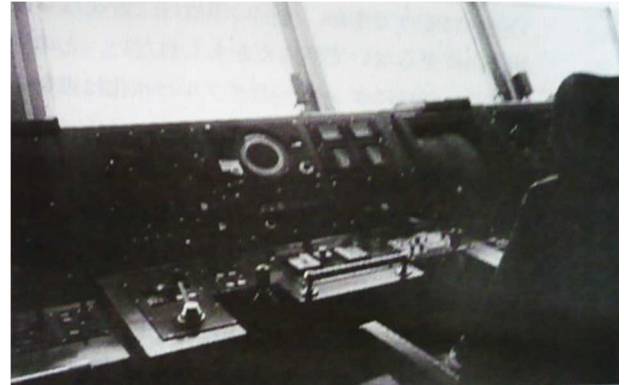
5. 「ゆにこん」 「船の科学」1997-8 (Vol.50, No.8) より採取。

- ・単胴型高速カーフェリー「ゆにこん」、函館～青森間航走、総トン数 1,498 トン、航海速度 35.0 ノット
- ・車輦搭載数 乗用車のみ 106 台、混載時 乗用車 78 台、大型車輦 5 台、旅客定員 423 名、乗組員 11 名
- ・主機関 高速ディーゼル機関 4 基 連続出力 計 35,360 PS、推進器 ウォーター・ジェット・ポンプ 4 基
- ・フィンスタビライザ、パウスラスト装備、ジョイスティック・コントローラ付き。
- ・船主 : 東日本フェリー(株) ・建造 : 三菱重工業(株) 下関造船所 平成9年5月29日 竣工
- ・13) は本船全景、14) は操舵室の操縦パネル。

13) W72-13 ゆにこん 本船全景



14) W72-14 ゆにこん 操縦パネル



6. 「シーバード」(SEA BIRD) 「船の科学」1997-9 (Vol.50, No.9) より採取。

- ・60 m ウェーブピアサー型カーフェリー(オールアルミ合金製、双胴型)「シーバード」、長崎～串木野(鹿児島)間に就航、総トン数 835 トン、航海速度 約30 ノット、車輦搭載数 大型バス 6 台 および乗用車 26 台、または乗用車台 48 台、旅客定員 296 名、乗組員 8 名、主機関 高速ディーゼル機関 2,750 PS × 4 基、ウォータージェット推進器 × 4 基、動揺制御装置 (Ride Control System) 装備。
- ・船主 : 船舶整備公団、ヤスダオーシャンベッセル(株)
- ・建造 : 日立造船(株) 神奈川工場 平成9年3月31日 竣工
- ・15) は本船全景、16) は操舵室。

15) W72-15 シーバード 本船全景



16) W72-16 シーバード 操舵室



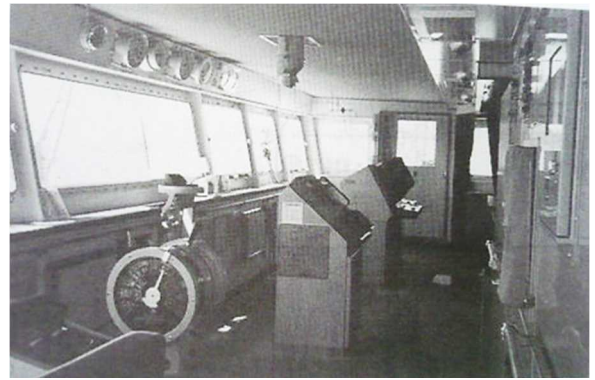
7. 「ASANO EXCELSIOR」(アサノ エクセルシアー) 「船の科学」1997-10 (Vol.50, No.10) より採取。

- ・20,800 DWT 型最新鋭大型セメント運搬船「アサノ エクセルシアー」、DWT 20,872 トン 航海速度 13.6 ノット
- ・セメントの荷役にスクリュウコンベア方式を採用。
- ・船主 : Corazon Shipping S.A.(Panama) ・建造 : (株)新来島どつく 広島工場 平成9年6月5日 竣工
- ・17) は本船全景、18) は操舵室 効率的で使いやすい操舵室となっている。

17) W72-17 ASANO EXCELSIOR 本船全景



18) W72-18 ASANO EXCELSIOR 操舵室



8. 「新ぶろばん丸」 「船の科学」1997-10 (Vol.50, No.10) より採取。

- ・1,270 m³ 積み内航LPG船「新ぶろばん丸」、DWT 849 トン、航海速度 12.0 ノット

最新鋭音声対話型 航海支援システムを装備している。気象海象情報の入手、航路保持、針路制御、航路計画・船速制御などの機能を有し、また電子海図を有し、レーダ映像との重量表示が可能となっている。プロパンの荷役状態を監視するため、事務室に荷役監視盤を設けている。

- ・船主 : 共和産業海運 (株)
- ・建造 : 佐々木造船 (株) 平成9年9月1日 竣工
- ・19) は本船全景、20) は操舵室、21) は荷役監視盤 (事務室)。

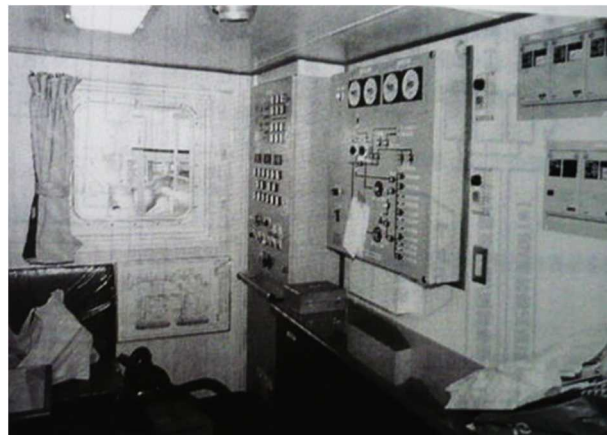
19) W72-19 新ぶろばん丸 本船全景



20) W72-20 新ぶろばん丸 操舵室



21) W72-21 新ぶろばん丸 荷役監視盤



9. 「DYNASTAR」 「船の科学」1997-12 (Vol.50, No.12) より採取。

- ・世界最大級 450 万 CFT 型チップ運搬船
- 「DYNASTAR」 DWT 47,407 トン、航海速度 (満載) 14.0 ノット

- ・船主 : 記載なし
- ・建造 : (株) サノヤス・ヒシノ明昌 水島製作所
平成9年8月28日 竣工

- ・22) は本船全景、23) は操舵室、24) は機関制御室。

22) W72-22 DYNASTAR 本船全景



23) W72-23 DYNASTAR 操舵室



24) W72-24 DYNASTAR 機関制御室



10. 「ACX RAFFLESIA」(ラフレシア)

「船の科学」1997-12 (Vol.50, No.12) より採取。

- ・1,675 TEU 積み 24,000 DWT 型コンテナ船「ACX RAFFLESIA」 DWT 24,548 トン、航海速力 20.0 ノット GMDSS を装備、無線室を廃止し、全ての無線機を操舵室後部に配置している。
- ・船主：Rozex Co., Ltd.(Panama)、東京船舶(株)用船。
- ・建造：(株)カナサシ 豊橋工場
平成89年8月21日 竣工

25) W72-25 ACX RAFFLESIA 本船全景



- ・25) は本船全景、26) は操舵室前部、27) は操舵室後部 (GMDSS 無線機器が見える)。

26) W72-26 ACX RAFFLESIA 操舵室前部



27) W72-27 ACX RAFFLESIA 操舵室後部



11. 「青雲丸」

「船の科学」1998-1 (Vol.51, No.1) より採取。

- ・運輸省航海訓練所 練習船「青雲丸」、総トン数 5884 トン。
- 本船は商船大学、商船高等専門学校、海員学校、海技大学の学生生徒に対し航海実習訓練を行う船舶である。
- 乗組員 72 名、実習生 180 名、航海速力 19.5 ノット
- 1機1軸1舵、操船性能を上げるため、CPP、バウスラスタ、フラップ舵、フィンスタビライザを装備。
- ・船主：運輸省航海訓練所
- ・建造：住友重機械(株) 平成9年10月1日 竣工

28) W72-28 青雲丸 本船全景



- ・28) は本船全景、29) は航海船橋、30) は実習船橋、31)、32) は機関制御室。

29) W72-29 青雲丸 航海船橋



30) W72-30 青雲丸 実習船橋



31) W72-31 青雲丸 機関制御室 (その1)



32) W72-32 青雲丸 機関制御室 (その2)



12. 「NYK ANTARES」 「船の科学」 1998
- 3 (Vol.51, No.3) より採取。

・国内最大級コンテナ船「NYK ANTARES」、コンテナ搭載数 5,700 TEU (うちレフコン 500 個)、DWT 81,819 トン、大量コンテナ輸送時代の幕開け、航海速力 (満載) 23.0 ノット、主機関連続最大出力 53,300 kW、発電機はターボ発電機 (1,500kW)、軸発 (1,500 kW)、ディーゼル発電機 (2,400kW) × 4、非常用 (190kW) となっている。データロガーにて採取したデータはインマルサットを利用して自動的に陸上に送信できるようになっている。

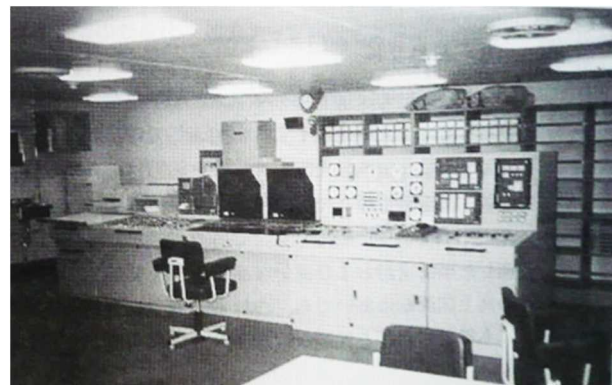
33) W72-33 NYK ANTARES 本船全景



34) W72-34 NYK ANTARES 操舵室



35) W72-35 NYK ANTARES 機関制御室



航海機器として操舵室に IBS (Integrated Bridge System) が装備されている。

- ・船主 : Orion Shipholding S.A.(Panama), 日本郵船 (株) が運航。
 - ・建造 : 石川島播磨重工業 (株) 第一工場 平成9年10月31日 竣工
- ・ 3 3) は本船全景、3 4) は操舵室 IBS, 3 5) は機関制御室。

(メモ)

- 1) 従来はカーフェリーなどに操船性能を重視して、CPP 付き、バウスラスタ、スターンスラスタ、マリナー舵などが採用されたが、この年はその範囲が広がっている。
10,000 DWT 型 RO/RO 運搬船「CLEMENTINE」では、2機2軸 CPP 付き、バウスラスタ×2、マリナー舵×2を装備している。「やまと丸」、「新日丸」も同様。
- 2) 商船高専の練習船「広島丸」では、超自動化船並の最新の機器、研究設備を装備している。
- 3) 30ノットを超える高速カーフェリーが多く建造されるようになった。「ゆにこん」、「シーバード」など。
- 4) 大量コンテナ輸送時代の幕開けと云うことで、5,700 TEU, DWT 81,819 トンのコンテナ船「NYK ANTARES」が紹介されている。
- 5) 航海システムが高度化し、電子海図 (ECDIS)、音声対話型航海支援システムが採用され始めた。
- 6) データロガーで採取されたデータが、インマルサットを使用し自動的に陸上に送信され始めた。